



いま いしゅせん  
今井珠泉氏に

名誉市民称号を贈呈

白河市名誉市民は、広く社会文化の発展に多大な貢献をするとともに、卓越した功績を持ち、郷土の誇りとして、多くの市民から尊敬される方にその称号を贈り、表彰するものです。

このたび、長年にわたり文化芸術の発展に大きく貢献された今井珠泉氏に、本市初となる名誉市民の称号を贈呈することが決まりました。

今井氏は、白河市本町に生まれ、旧制白河中学校(現白河高等学校)を卒業、東京藝術大学美術学部日本画科に入学、昭和31年に卒業されました。同年、再興第41回院展に初入選を果たされて以降、文部科学大臣賞や内閣総理大臣賞をはじめ、数々

の賞を受賞し、現在も日本美術院における最高位である「同人」として活躍されています。

また、法隆寺金堂壁画の再現模写や高松塚古墳壁画の現状模写に携わるなど、日本を代表する文化財の保存・修復にも大きく貢献されています。

これまで、124点もの作品を市に寄贈されたほか、文化交流館コミネスの緞帳の原画を郷土への想いを込めて制作するなど、本市の文化芸術の振興に多大なるご尽力をいただいています。

また平成21年から4年間「しらかわ大使」として、市政の進展にご助力をいただきました。  
☎秘書広報課 内線2369

主な経歴

- 昭和 5年 白河市本町で出生 (本名：今井昭吾)
- 22年 旧制白河中学校卒業
- 27年 東京藝術大学美術学部日本画科入学
- 31年 東京藝術大学美術学部日本画科卒業
- 40年 在外公館壁画制作 (外務省委託)
- 44年 法隆寺金堂壁画再現模写参加  
愛知県立芸術大学助教授 (～46年)
- 47年 福島県総合美術展覧会審査員 (～平成22年)
- 48年 高松塚古墳壁画模写参加 (～50年)
- 平成 2年 アラブ首長国連邦大統領献上画制作
- 12年～ 広島市立大学名誉教授
- 15年 日本美術院「同人」推挙
- 17年～ 尾道大学 (現尾道市立大学) 名誉教授
- 17年 総理官邸装飾画制作委嘱
- 21年 しらかわ大使 (～25年)
- 23年 JFA創設90周年記念絵画『瑞鳥』制作

主な受賞歴

- 昭和31年 再興第41回院展初入選
- 53年 紺綬褒章
- 58年 白河市功勞表彰
- 63年 紺綬褒章
- 平成 4年 再興第77回院展 日本美術院賞(大観賞)【右画像】
- 6年 再興第79回院展 日本美術院賞(大観賞)
- 11年 白河市制施行50周年表彰
- 19年 福島県県外在住功勞者知事表彰
- 21年 再興第94回院展 文部科学大臣賞【P3画像】
- 22年 紺綬褒章
- 25年 再興第98回院展 内閣総理大臣賞※表紙
- 令和 2年 紺綬褒章



『静日 (イヌワシ) ・静夜 (流水)』  
平成21年再興第94回院展 文部科学大臣賞 (各193.9×112.1cm)

《特別企画展 今井珠泉寄贈作品展》

今井珠泉画伯の代表作を一挙公開

今井珠泉画伯は、大自然の厳しい環境に生きる動物を、自らもそこに身を置いて観察し、あふれる生命力や神秘性の表現を追求しています。

画伯は、岡倉天心や横山大観が設立した、日本を代表する美術団体「日本美術院」の同人 (最高位) に在籍し、平成25年に再興第98回日本美術院展覧会 (以下院展) で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞し、第一線の日本画家として現在も活動を続けています。

このたび、画伯から寄贈いただきました院展受賞作を含む多数の作品を市民の皆さんに広く公開するため展覧会を開催します。

- 会期 11月14日(日)～12月19日(日)
- 時間 午前9時～午後5時  
※入館は午後4時30分まで
- ※11月14日は正午開館
- 会場 小峰城歴史館 (郭内1-73)
- 休館日 毎週月曜日 ※11月15日(月)は開館
- 入館料 大人300円 (250円)  
小中高校生100円 (50円)  
障がい者100円 (50円)
- ※( )内は20人以上の団体料金
- ※会期中、2回目以降は団体料金で観覧できます。  
(前回の本展観覧券の半券を提示してください。)
- ☎文化財課 ☎2310



『飛翔』  
平成4年再興第77回院展 日本美術院賞(大観賞)  
(173.0×218.0cm)